

「商店街活性化施策のあり方」

平成26年11月14日

行政改革推進本部事務局

説明資料

商店街活性化施策の在り方

【既往事業（平成25年度実施事業）】

★地域中小
商業支援事
業
(H25 39億)

★地域商店街活
性化事業
(H25補正53億)

★商店街ま
ちづくり事
業
(H25補正127
億)

【成果指標】
補助対象の商
店街における
①来街者数の
増加②売上の
改善
がみられた商
店街等の割合
(65%)

【成果指標】
補助対象の商店街に
おける
①売上高(又は空き店
舗数)
②歩行者通行量
の改善割合
(60%)

【成果指標】
補助対象の商
店街における
①安心・安全
の指標②歩行
者通行量
の改善割合
(60%)

※ 中小商業活力向
上事業、地域商業再
生事業

【補助手法】
2／3、1／2、
1／3

【補助手法】
定額

【補助手法】
2／3

（事業概要）

商店街が行う集客促進、需要喚起に効果のある取組で、恒常的な集客向上や販売力向上が見込まれるイベント等の支援

＜実施例＞

商店街名	事業内容
A	「ムーン・ウォーク世界選手権」の開催
B組合（秋田県）	コンコン祭り（キツネカフェ・キツネダンス）
C連盟（栃木県）	レシートまつりでガラポン（くじ引き）
D組合（東京都）	靴磨きのイベント
E商店街連合会（東京都）	ゆるキャラ大集合 大道芸人フェスティバル

問題点

単発的なイベントの申請・採択が急増。これは定額補助（事実上の全額補助）のためではないか。

【現行事業（平成26年度実施事業）】

★地域商業自立促進事業 (H26 39億 → H27 25億)

【成果指標】

補助対象の商店街における

① **歩行者通行量**

② **売上高**

の目標が**達成された商店街の割合**
(65%)

【補助手法】

2／3 または 1／2

(事業概要)

商店街における地域コミュニティの形成、新陳代謝を図る取組、魅力創造に向けた取組の支援

事業の一部の例(募集要領抜粋)

魅力創造支援事業

商店街等の商機能に着目した商店街等の魅力創造に向けた新たな取組を行うに当たり、その取組内容が、地域の消費活動を活性化させることで地域経済の自立循環を加速化する事業

(例)アーケード、ファサード、駐車場、カラー舗装、環境リサイクル対応設備、ポイントカードシステム、**イベント**、アンテナショップ、宅配事業等

問題点

【成果指標】

- ① **補助金の受け取り手が目標を設定しているが、その目標の妥当性を客観に判断する指標がない。**
- ② **65%の商店街が目標を達成すればよいという目標が妥当か。**
- ③ 事業の成果を**横展開して達成すべき全国的な目標が定められていない。**

【効果の継続性】

補助事業を採択するに当たり、**効果の継続性が見極めが十分**になされているのか。

地域商業自立促進事業

国
(経済産業省)

補助金の交付
(補助率: 2/3 または 1/2)

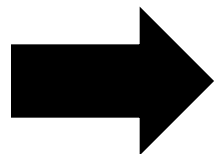


支援計画書の提出

地方自治体



商店街振興組合等



現状では事業の採択に当たって地方自治体による支援計画書等を求めているものの、当該自治体の拠出が要件とされているわけではない。